

令和元年度 学校評価

本年度の重点目標	(1) 命を大切にさせる (3) 行事を充実させる (5) 多忙化の解消を図る	(2) 学習指導を充実させる (4) ボランティア活動を推進する		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項	まとめ(評価と改善策)
総務 (総務部)	(1) 教育活動の効率的な運営の確立 (2) 学校内規の整備と運用方法の工夫 (3) 地域に向けての情報発信の整備・工夫	(1) 年間行事が教育活動に効率的にはたしているか検討する。 (2) 各分掌で内規の見直しを継続する。 (3) 保護者、中学校、地域社会への情報発信の方法を整備し工夫する。	(1) 各分掌に依頼し、検討内容を検証する。 (2) 内規の見直しを継続的に実施する。 (3) P T A 行事等の見直しを行う。また、創立 5 2 年目を迎えた本校の新しい取組を中学校や地域に広く情報発信していくための方法を考える。	(1) TOGO ART FESTA が文化祭となり 2 年目を迎え、各種行事の実施時期について、特別活動部を中心に再検討を行った。行事についてはその意義を再確認した上で、学習活動とのバランスを考慮し、適切な時期に行えるよう配慮していきたい。 (2) 内規については積極的に検討を進めた。 (3) 本年度より総務に HP 担当(図書兼任)を配置することにより、更新回数を飛躍的に増加させた。 「学校案内」および「学校見学会案内」を近隣の中学校には、1 学期に 3 年生全員に配付することができた。そのため、学校見学会来校者は、昨年度より大幅増となった。今後も続けていきたい。学校見学会については一部実施方法を変更した。 地区研修会にて本校 P T A 活動について発表した。
学習指導 (教務部)	(1) 確かな学力の育成 (2) 能動的学習の推進 (3) 業務の改善・改良 (4) セキュリティの向上 (5) メソフィアの活用 (6) 情報機器の活用	(1) 教育課程の検討 (2) 能動的な学習活動を進める。 (3) 運用規定を整備する。 (4) 情報資産の管理を徹底する。 (5) メソフィアの活用を図る。 (6) 情報機器の活用を促進する。	(1) 「きめ細かな指導の充実と授業力の向上」 「学習環境の整備と授業規律の維持・向上」 (2) 「能動的な学習法を取り入れた授業実践」 (3) 「慣例として行われている業務の明文化」 (4) 「情報資産管理の実態の把握と意識の向上」 (5) 「成績処理の適切な実施とセキュリティの向上」 (6) 「プロジェクターをはじめとした ICT 環境の整備」	(1) 5 月に授業研修、11 月に公開授業を実施し、職員が相互に授業参観して意見を交換し、知見を拓く機会を設けた。また、新教育課程の検討を継続して行うことができた。 (2) 通常授業タブレット P C、プロジェクター等を活用した学習指導を継続的に進めている。 (3) 成績処理、再考査指導等の手続き過程を可視化し、配布物、記入書式等の見直しを行った。内規・運用規定について改定案を検討した。 (4) 情報資産管理の実態を把握し意識を向上するため、定期的にアンケート調査を実施し、情報資産の整理を呼びかけた。 (5) メソフィアの操作手順についての現職研修を実施し、利用を促した。 (6) 職員 P C 及び周辺機器の更新整備を円滑に実施できた。
生徒指導 (生徒指導部)	(1) 交通安全運動の推進 (2) いじめの未然防止に係る取組の充実 (3) いじめの早期発見、適切な対応	(1) 交通事故の減少と交通ルールの徹底 (2) 全校集会や学年集会、HR 活動において、いじめ問題を考える機会を設ける。 (3) いじめの情報収集、事案対処に係る学校いじめ防止対策組織の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。学校生活におけるアンケートの実施方法や、その後の対処のあり方について検証し、いじめの早期発見、適切な対応につなげる。	(1) 交通安全に関する指導法を工夫し、交通事故発生数を昨年度より減少させる。また安全委員会を通じて、交通安全に対する意識を高める啓発活動を実施する。 (2) 生徒がいじめ問題について主体的に考え、自らに関わる問題としてとらえられるようにする。 (3) 学校いじめ防止対策組織の役割を生徒や保護者に周知することで、生徒が安心して学校生活を送ることができるような環境作りを行う。 生徒が記入しやすいアンケートの様式や実施方法、その後の組織的な対応のあり方について検討する。	(1) 交通安全立ち番時の様子や地域からの情報提供をもとに適宜指導を実施した。また、全校集会時に魅力ある学校づくりの一環として、交通マナーの向上を呼び掛け、交通事故減少に繋げる事ができた。(28 件→14 件) (2) 学校生活におけるアンケートの中で、自分ではない事への記入もさせることで、いじめの抑止力に繋げることができた。また、友人が受けているかもしれないという記述から、早期に対応することにも役立った。 学年集会で情報モラルに関する話をするなどし、人の受け取り方は様々であることなどを伝えた。 (3) 学校生活におけるアンケートを集約し、面談が必要と判断した事案に対しては面談を実施した状況を共有フォルダに入力する形で情報共有をした。また、その状況を相談委員会で共有することができた。
特別活動 (特活部)	(1) 学校行事の見直し (2) 生徒会活動の一層の活性化 (3) 部活動環境の一層の充実	(1) 2 度目の文化祭をはじめ、体育大会などの行事がよりよくなるよう検討する。 (2) 生徒会による対外的な活動及び、生徒議会の回数を増やす。 (3) 高額備品購入のための予算確保に努める。	(1) 体育大会や文化祭などの行事に、職員・生徒の意見を積極的に取り入れ、「自分たちで作上げる行事」という意識を高める。 (2) 生徒会の意見を積極的に取り入れ新しい活動に取り組む。 (3) P T A 会費の増額や同窓会からの支援金について理解と協力をお願いする。	(1) 行事を計画する段階で、職員と生徒の意見や考えを出来る限り取り入れた。文化祭については、代表生徒が審査に参加することで、自分たちの行事という意識を高めることができた。 (2) 体育大会や文化祭などを中心に活動の場面を設けた。運営赤い羽根共同募金の募金活動なども行った。 (3) 50 周年基金から部活動関係の備品を購入いただいた。グラウンドの放送機器など、老朽化した特活備品の購入予算も確保していきたい。
進路指導 (進路指導部)	(1) 進路目標の自己実現 (2) キャリア教育の推進	(1) 情報を精選・整理し、必要な時に必要な情報を教員・生徒に提供する。 (2) 補習、模擬試験等を企画し、学力の向上を図る。 (3) 進路講演会等を通じて、進路目標を持たせ、自己実現を図る。 (4) キャリア教育の充実を図る。	(1) 新入試制度についての情報の収集、対応について、学校全体での取組みについて検討する。 (2) 模擬試験の結果分析を行い、教科主任会で報告・検証を行う。 (3) 平常補習、長期休業中の補習、校内模試、進路講演会等の企画運営を行う。 (4) キャリア教育の充実について教務と連携を図る。	(1) 新入試制度の柱であった英語 4 技能試験や共通テストでの記述式問題はなくなったとはいえ、入試改革は継続するので情報収集に努めていきたい。 (2) 模試結果の報告については、教科・学年での対応に役立てられる資料となるよう努めていきたい。 (3) 模試・補習・進路講演会は計画通りに行うことができた。 (4) 総合の時間等を活用し、進路に関する各学年の取り組みを行うことができた。
図書 (図書部)	(1) 読書活動の啓発 (2) 創作活動の推進 (3) 図書館の有効活用	(1) 図書日より、掲示物等で蔵書を紹介する。 (2) 生徒に創作や発表の機会を設ける。 (3) 学習室としての環境を整備する。	(1) 図書日より、ポスター、POP 等の作成を通して図書への興味を喚起し、読書習慣が身につくよう啓発していく。 (2) 掲示物等の制作機会を与え、生徒が作品等を発表する場を設ける。 (3) 蔵書の充実、環境の整備により、学習室としての図書室	(1) 「図書日より」や新規購入図書案内ポスターを定期刊行して掲示した。チャレンジ 5 や本の福袋などで読書への働きかけを行った。 (2) 図書まつりの本探しゲームなど、図書委員の創作活動の機会を増やすことができた。 (3) 朝読の効用を研究し、研究会議で職員に紹介することで蔵書の有効活用を考える機会とした。グループ学習、調べ学習の利用に応えるべく、蔵書の充実と館内設備の整備を進めた。古い書籍の廃棄について検討し、新しい書籍との入れ替えを進めていきたい。

			利用を促す。		
保健 (保健部)	(1) 清掃活動の充実 (2) 教育相談の充実と個別支援の体制化 (3) 健康な心身の育成と命を守るこころの教育	(1) 10分間清掃 (2) 生徒情報の共有・周知と職員の意識向上 (3) 健康観察の励行個を認め合う心の教育	(1) 環境・美化に対する意識を高め、生徒が主体的に清掃活動をするように指導する。環境・美化委員会の一層の活性化を図る。 (2) 担任会(学年会)並びに教育相談委員会における生徒情報の共有と周知を徹底し、早期の問題解決を図る。スクールカウンセラーと連携し、職員の意識の向上を図り、個々の生徒への支援等を円滑に行う。 (3) 日々の生徒の健康観察を行い、健康診断結果を活かし、生涯にわたって自己の健康管理ができるような保健指導と個を認め合い、自他の命を守る教育を行う。	(1) 具体的な清掃方法の例を示し、より作業しやすい清掃用具を取り入れ、清掃用具入れの整理・整頓の方法を工夫することで、生徒が清掃活動に取り組みやすい環境を整えた。また、学習環境の整備を目的として、環境美化強調週間を6月と10月の年2回実施した。引き続き、学校美化・環境への配慮を意識させる指導の工夫や節電等の指導の工夫を行う。 (2) 担任会ならびに教育相談委員会において、生徒情報の共有と周知を徹底し、配慮や支援を必要とする生徒のニーズから校舎の階段に手すりを設置し、安全に配慮した環境を整えた。生徒に適切な指導・支援を行うことができる体制を整えた。長期休業前の保護者会期間に、保健関係で気になる生徒に対し保護者面談を実施し、保護者の協力を得て指導に当たることができる体制を整えた。さらに、スクールカウンセラーによる教職員研修を実施し、全教員に対し発達特性への理解が深まる機会とした。 (3) 毎朝の健康観察により、病気やケガの早期発見早期対応が可能になった。今後は保健室来室者の情報共有をどう盛り込むかを検討したい。全職員による生徒の健康観察も引き続き強化できるように工夫したい。	
学年会	1年	基本的な生活習慣と学習習慣の確立	(1) 規範意識の育成 (2) 学習サイクルの確立 (3) 自己理解と進路目標の設定	(1) 学年団全員で、組織的かつ継続的に生徒指導に取り組む。 (2) 生徒の能力に応じた学習指導の計画と実施。 (3) 総合等を活用し、進路意識の涵養を目指す。	(1) 学年団全員による平素からの継続的な声かけを行い、規範意識の向上を図ることができた。学年集会等を用いて、SNS利用マナーおよび交通マナーの改善に、より一層努めていきたい。 (2) 土曜学習会、成績不振者学習会を開催し、定期考査に向けて学習する姿勢を育て、個々に応じた学習指導を行い、再考査対象者を減らすことができた。復習テストに向けての動機付けと、余力者向けの学習指導をより充実させていきたい。 (3) 総合の時間を用いて進路目標を立てるための足場かけ学習を行った。来年度以降も継続して行っていきたい。
	2年	基本的な生活習慣と学習習慣の定着	(1) 健全な生活習慣の定着 (2) 計画的な学習習慣の定着	(1) 学年団全員で、組織的に生徒指導に取り組む。 (2) 主体的な学習活動に対する指導と支援。	(1) 修学旅行の事前学習及び修学旅行本番を通して、時間を守ることやその場の雰囲気を感じて行動することなど、周りとの協調性や自主性に磨きをかけることができた。 (2) 機会を捉えて指導し、学習への動機づけをした。また、補習や考査週間の居残り学習など積極的に取り組む姿勢が見られた。
	3年	進路目標の実現	(1) 社会人としての自主性の育成 (2) 明確な進路目標の設定 (3) 基礎学力の早期定着と確かな応力の育成	(1) 生徒自身が判断できる場面を多く設定する。 (2) 面談をもとに適切な情報提供・助言を行う。 (3) 授業・補習などを利用した学力の向上を目指す。	(1) 体育大会や文化祭、遠足などの学校行事を中心として、あらゆる学校生活の場で意識的に取り組ませることにより自主性を育むことができた。 (2) 模試の結果や進路情報等を用いて積極的に面談を行うことで、進路目標を明確にすることができた。 (3) 補習への参加率は良好で、補習を通して基礎学力の定着と応力の育成をはかることができた。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		(1) 規律、学力、体力の向上 (2) 環境整備			

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	学校目標に示された、知・徳・体の調和のとれた人材育成をはかることを目指すために、実践する教育活動の推進と、創立から半世紀を過ぎた本校の更なる発展を目指した教育活動について
自己評価結果について	美術コースが設置されてから3年目をになり、コース初めての卒業生を出すこととなった。夏休みには、古美術研修旅行を実施し、立派な研修成果を取めることができ、無事に終えることができた。卒業前には卒業制作展を行い、内外共に3年間の成果を発表することができた。 授業・部活動・学校行事はもとより、日々の生活全般にわたって行われている基本的な生活習慣の確立を図る取組により、生徒の規範意識は着実に育ってきている。体力面の向上は図られているものの、学力向上の面では期待値を上回ることはできなかった。
今後の改善方策について	教員相互の研修により、授業改善・授業力の向上をさらに図ってもらいたい。先進のICT機器が導入されることもあり、アクティブラーニング型授業の推進とともに、より効果的な授業展開を期待する。 授業外でも、生徒の学力の伸長を図る取組をこれまで以上に充実させていただけたらと思う。先生方の生徒への思い、例えば「志望校へ合格させる」「夢を叶えさせる」といった先生方の意欲を生徒に伝え、その気させてほしい。
その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)	・学習会等が希望制になり、自由度が増すことは良いが、できれば、全員参加の学習会を継続して欲しい。 ・行事等の見直しによって、東郷の伝統が失われつつある。取捨選択は必要であるが、流行だけでなく不易のところも考えてほしい。 ・東郷は本当に面倒見のよい学校、土曜学習会の実施は親の立場から見ても大変ありがたい。
学校関係者評価委員会の構成および評価時期	・構成…学校評議員4名 ・評価時期…7月・2月

経営管理上の問題点等

- ア 菅池グラウンドの水道管が破裂し元栓を閉じなければならない。
- イ プールの濾過槽が使用できないためプールを活用することができない。
- ウ グラウンドの再整備ができていないままで、年々水はけが悪くなり、屋外の活動に支障が生じている。